

名古屋大学高等教育研究センター 第87回招聘セミナー

変革期を迎えた科学 科学者の品格とポストク問題

坂東 昌子 氏

知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん理事長
日本物理学会元会長

講演概要

20世紀の特徴は、個別科学の目を見張る発展であった。人類は、より広くより深く、そしてより遠くを見る眼を獲得し、物質観、宇宙観、生命観が深化した。

21世紀は、個別科学から、環境・医療・教育など、より多くの人々の知恵を集積した科学の営みが本格的に始まった。「情報」「知恵」が重要になり、IT技術の発展は知恵を共有する豊富なツールを駆使しながら、21世紀型の科学の変革の波が押し寄せている。こうした中で、科学者とは何か、科学者の役割はなにか、しっかりと考えておきたい。気候ゲート事件・データ捏造事件の背景にある科学技術社会の変容とポストク問題とをつなげて考えてみたい。

日時：2010年6月17日（木）

16時00分～18時00分

場所：名古屋大学 東山キャンパス
文系総合館7階オープンホール

お問い合わせ：

夏目 達也（内線5696）

info@cshe.nagoya-u.ac.jp

本セミナーはコンソーシアム事業の一環として実施するものです